

栃ト協/安全運転競技会

# 宮本運輸、2部門でV

## 業務で磨いた技術発揮

運転技術では、スラローム走行を実施



【栃木】栃木県トラック協会（石塚安民会長）のトラック安全運転競技会が5月21日開かれ、日頃の業務で磨いた技術を15選手が競った。優勝には、11ト部門で渡辺邦和選手（宮本運輸）、4ト部門で和氣隆浩

選手（同）、トレーラ部門で古口喜之選手（バンテックイースト栃木営業所）がそれぞれ輝いた。トープモータースクール（臼井稔清社長、宇都宮市）に会場を設けて開催。開会式で、臼井社長と石塚会長

の代理の半田臣一副会長が選手にエールを送った。

11ト部門に8人、4ト部門に4人、トレーラ部門には3人が出場。選手は学科400点、運転技術400点、日常点検200点の計1千点満点で、磨き上げた知識と技術を発揮した。

競技の結果、11ト部門では渡辺選手が965点で優勝。2位に870点で永田達二選手（関東西濃運輸佐野支店）、3位に844点で小林博文選手（サンコー）が入った。4ト部門は和氣選手が889点、トレーラ部門は古口選手が885点を獲得した。各部門の優勝者に全国大会出場権が与えられる。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、閉会式は行わず、後日結果を発表した。（園川萌子）